

せつつの未来を考えるワールドカフェ

実施概要 報告書



《実施概要》

① 安威川以北版

日 時：令和7年11月15日（土） 13時30分～16時00分

場 所：摂津市立コミュニティプラザ 3階コンベンションホール（1）

参加者：36人

② 安威川以南版

日 時：令和7年11月16日（日） 13時30分～16時00分

場 所：摂津市立鳥飼北小学校 体育館

参加者：20人

③ 市域全体版

日 時：令和7年11月29日（土） 10時00分～12時30分

場 所：摂津市役所 7階講堂

参加者：60人

1. プログラム

次の3つの「問い」を起点として、リラックスした雰囲気の中で「よりよい暮らし」「幸せな暮らし」や「10年先、20年先に残したい・みがきたい・生み出したいこと」など、自分ならではの摂津市の姿について語り合うワールドカフェを実施しました。

「3つの問い」に対してそれぞれ20分間の会話を重ねたあと、最後に「ハーベスト（収穫）の問い」に対する思いを一人ひとり付せんにご記入いただいて、車座になったの発表を通じて、フロア全体での思いの共有を図りました。

① 安威川以北版、② 安威川以南版

最初の「問い」

- あなたにとって「よりよい暮らし」「幸せな暮らし」とは何ですか？
「よりよい」とは？「幸せ」とは？ など、テーブルの仲間といっしょに問いで問いを深めながら、身近なことから具体的にお話してください。

2番目の「問い」

- あなたにとって「よりよい暮らし」「幸せな暮らし」とは何ですか？
そのために「残したい」「みがきたい」「生み出したい」と思うモノ・コト・価値などもあわせてお話してください。

3番目の「問い」

- 「よりよい暮らし」「幸せな暮らし」について、たくさんお話しいただきました。
そのうち「私たち」が共感できることとして、どんなことがありますか？
また、そうした「暮らし」をつくっていくために、あなたが、あなた自身や仲間といっしょに「行動」できることはなんですか？

ハーベストの問い

- あなたは、10年先、20年先の摂津市がどんなまちになっているといいと思いますか？
10年先、20年先の摂津市に暮らして「よりよい暮らし」「幸せな暮らし」を実感するために「残したい」「みがきたい」「生み出したい」と思うモノ・コト・価値などもあわせて教えてください。

③ 市域全体版

最初の「問い」

- 安威川以北・以南それぞれのハーベストの内容について、「結構ちがうなあ」と思ったことや「やっぱりそうだなあ」と共感したことは何ですか？

2番目の「問い」

- 先ほどのラウンドのうち、「やっぱりそうだなあ」と共感できたことは、どうして共感できたのですか？
また、それを実現していくために、「私」や「私たち」が明日からでもできることは何ですか？

3番目の「問い」

- 「10年先、20年先の摂津市民代表」の立場から、「摂津に暮らすなら、こんな幸せが実感できる！」と主張・宣伝してみてください。

ハーベストの問い

- 10年先、20年先、摂津市がどんなまちになっていたら私たちは幸せに暮らせると思いますか？
こんなまちになってほしいと思う摂津市の将来の「まちや人の姿」を、自由に描いてください。

2. ハーベストの成果の分類

各回のワールドカフェにおける「ハーベストの問い」に対して得られた意見について、次の10類型に分類しました。

(1) 10の類型

■ 交流・つながり

人と人、世代や地域を超えた関係性・つながりに関するもの。

■ 子ども・子育て・若者

子ども・子育て環境、若者の育ち・活動に関するもの。

■ 高齢者・弱い立場への配慮

高齢者や、体の不自由な人などへの支援・暮らしやすさに関するもの。

■ 交通・移動・アクセス

バス、鉄道、道路、歩行者・自転車の安全、鳥飼への移動、アクセス利便性など。

■ 商業・にぎわい・経済

商業施設、ショッピングモール、店、にぎわい、仕事・経済に関するもの。

■ 医療・健康

病院・診療所・健康づくりなどに関するもの。

■ 安心・安全・防災

治安、防犯、防災、災害対策、安全な暮らしに関するもの。

■ 行政・ガバナンス・市民参加

市の姿勢、縦割りでない支援、市民の意見の反映、ワールドカフェのような場の継続など。

■ 環境・景観・暮らしやすさ

自然・緑・環境、静かさ、暮らしやすさ（インフラ全般含む）の話。

■ 地域固有資源・特徴

新幹線基地、市内の工場・企業など「摂津ならではの資源や特徴」に関するもの。

(2) 類型別の集計 (主旨の累計)

	安威川以北版	安威川以南版	市域全体版
交流・つながり	24	12	39
子ども・子育て・若者	19	5	28
高齢者・弱い立場への配慮	2	0	13
交通・移動・アクセス	10	3	22
商業・にぎわい・経済	17	0	14
医療・健康	3	3	4
安心・安全・防災	2	4	6
行政・ガバナンス・市民参加	14	11	15
環境・景観・暮らしやすさ	9	4	11
地域固有資源・特徴	5	4	13
その他	9	14	10
計	114	60	175

※ 機械的な分類・集計のため、参考値です。

(3) 各類型の主要な意見

交流・つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人とのつながりを大切にする社会 ・ 摂津市全体で交流ができるまちに！ ・ 交流することに対してのハードルを下げられるようにしたい ・ 長く生きていくうちに、地域のコミュニティに属して全体的な幸福を考えるようになる。若い人にも参加を促していきたい
子ども・子育て・若者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未来の子供たちの為に安全で快適なまちに！ ・ 子育て・商業・学校（学生）に特化したエリアが分かりやすく示されている状態 ・ 子育て人口が増えて欲しい ・ 若者が楽しめる場所
高齢者・弱い立場への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1人暮らしの高齢者に優しい移動手段を増やす ・ 高齢者が求めている支援 ・ 子供から高齢者、障害者いろんな方がワイワイつながっている町 ・ 大きい病院があれば体の不自由な方が困らない
交通・移動・アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道を歩きやすく ・ 1人暮らしの高齢者に優しい移動手段を増やす ・ 交通の便が良くなり、会いたい人、行きたい場所へフットワーク軽く移動できる街
商業・にぎわい・経済	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業の発展 ・ 大きい商業施設が欲しい ・ 人が多くにぎわいがあり、活気のあるまちになってほしい。
医療・健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆が健康で自分の意見を言い、他人の意見を聞き、知見を広げられるまち ・ 暮らしは経済も大事だが、健康（体・体調の維持が大事、このための目標）コミュニティを周りで作りながら。
安心・安全・防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心、安全なまちで「自分のやりたいこと」ができるまち ・ 鳥飼の災害対策や交通の不便さの解消 ・ より良い暮らし、安心安全な町

行政・ガバナンス・市民参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民、市民の声を聞いて下さる行政を。地域活動の場残してください ・ 市民と市職員のワールドカフェを継続的に実践しましょう
環境・景観・暮らしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑豊かな自然環境（誰もが日常でお金を掛けず楽しめる） ・ 有害物質、環境を子孫に残さない。自然の多く残る摂津市にしてほしい。 ・ 住んでいる人たちが顔の見える環境 ・ 今の摂津市は大変住みやすい街と考えるので、この環境を残していきたい
地域固有資源・特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業と通りすがりの人が「すぐ」話せるコミュニティがあるまち ・ 他の所がない独自性が欲しい ・ 大企業が多く存在し、厚生施設を市民解放し、交流等で裕福な市になっている



(4) 各回の特徴

① 安威川以北版



大学生や高校生に多くご参加いただいた回であり、「こんなまちになってほしい」という、多様な願いが出されました。

とりわけ「交流・つながり」「行政・ガバナンス・市民参加」「子ども・子育て・若者」などの面から、「若者・学生が楽しめる居場所づくりと、地域交流・交通」についての意見が多く出されました。

② 安威川以南版

安威川以北版に比べ、行政職員の参加比率が高かった回であり、「行政・ガバナンス・市民参加」「交流・つながり」「環境・景観・暮らしやすさ」などの面から、「対話や価値観・行政のあり方、将来世代と今の世代の関係」についての意見が多く出されました。



③ 市域全体版

①または②に参加した人も含めた参加者によるワールドカフェとして実施し、①・②のハーベストの内容を確認するところからスタートしました。

「交流・つながり」「行政・ガバナンス・市民参加」「子ども・子育て・若者」「交通・移動・アクセス」「居場所・場づくり（カフェ・広場など）」など、幅広く意見が出されました。



① 安威川以北版 ハーベスト内容（原文まま）

- ・地域の交流を強く
- ・地域の交流できる場所を増やしたい
- ・交流することに対してのハードルを下げられるようにしたい
- ・地域の活動についての広報を強くしたい
- ・娯楽や交通手段の選択肢があり、摂津市全体で交流が出来るまちに！未来の子供たちの為に安全で快適なまちに！
- ・大きい商業施設が欲しい。
- ・総合病院も欲しい。
- ・楽しく元気に暮らせる街にして欲しい。
- ・学生が気楽に集まれる空間づくり
- ・鳥飼への移動に心理的ハードルを設けない。
- ・日本人が多い地域、ベットタウンを目指す
- ・利便性があって気軽に集まれるまち⇒そのためにも他市にない（マネされない）独自性を持たせることが大切。例：摂津市にしかないコンセプト⇒ない店だけだとマネされる
- ・学生が集まれる場所
- ・他の所にはない独自性が欲しい
- ・鳥飼の災害対策や交通の解消。
- ・人が集まる場所が市内に必要
- ・人口増でも快適に暮らせる街。①広い道幅（チャリ・歩行者）②摂津市の看板となる場（おにクルミみたいな複合施設）③緑豊かな自然環境（誰もが日常でお金を掛けず楽しめる）
- ・マンションが増えて人口が増えるのは良いことだから、その分、カラオケやカフェ、大きなスーパーやショッピングモールなど「集まれる場」が増えていれば良いと思った。そうすることで摂津市にお金が入る
- ・摂津中央に人を集める施設ができ、他の市等に人を流させず、今の人口を維持しつつ、人が流れない為に財力もあり、それを市民に使っている街。
- ・歩道を歩きやすく
- ・住んでいる人たちが顔の見える環境
- ・1人暮らしの高齢者に優しい移動手段を増やす
- ・10～20年後他の市と合併して、利用する価値のある市になる
- ・学生らしい遊びができる場所が出来てほしい
- ・若者が楽しめる場所。カフェ、ファーストフード店、集まれる場所
- ・色々な年代の人が生き生きと輝いている街。摂津と幸せがセットになっている街
- ・カフェ・ファーストフード店・遊べる施設等⇒滞在時間が長くなる
- ・摂津市のイベントごとなどもたくさんの方が知れるような掲示板とかを歩く場所

に設置する

- ・ 10年後、20年後は、それぞれの年代の方が今回のWCのように和気あいあいと話し合い、何かを行動に移している。
- ・ そのためには、まちを愛する人たち（市民）にもっと自主性を持たせる仕組みを作り実践すること
- ・ 若い世代の人達が集う場所が増えて、学生たち中心で活気あるまち。カフェ、ファーストフード店、ファミレス、遊び場⇒学生向け、高校生向け
- ・ 行きたい街に
- ・ 少しだけ建物が増えてそう
- ・ 若者の集まる場所、施設が必要。モール、百均（DAISO）
- ・ 若者が集う場所をつくる！ ファーストフード店、ファミレス、カラオケボックス、お肉屋さんの名物コロッケ、おしゃれなカフェ
- ・ 買い物へ行きやすくなっていそう。活気があふれていそう。
- ・ 便利なまち、施設が多い、学生が楽しめる
- ・ 同じバクトルを持った仲間が簡単に見つかるまち
- ・ 住んでいる人たちの理想をたくさん人に知ってもらい、それぞれが住みやすい町
- ・ 社会の現状を知り、そのことに対しての課題を見つける。共感しあい、よりよい町にする。
- ・ 10～20年後の摂津⇒住みたい市ナンバー1に選ばれるような町づくりを皆でしましょう。
- ・ 地域の繋がり、声掛け、助け合い。居場所づくり、相談できる場所
- ・ 買い物や通院の交通手段
- ・ 若い人にも地域に関心を持ってもらう機会をつくる
- ・ 10～20年後はどんな街になっているかはわかりませんが、老若男女問わず暮らしやすいまちにするため、ショッピングモールを摂津市に！
- ・ 自由に遊び場が多い学生向けの町。町の人に愛されている物や場所は残したい。
- ・ 住んでいる人たちや全員が自分自身のやりたいことを出来るまち。
- ・ 交通の便利さや自然を残したい。
- ・ 自分のしたいこと、言える場所をつくる。
- ・ ”行く理由”のある町。子育て・商業・学校（学生）に特化したエリアが分かりやすく示されている状態。イベントが色々あって、そこには市民として前向きに参加したいです。
- ・ 若いうちは個人的な幸せを求める事が多くなるが、長く生きていくうちコミュニティに属し、全体的な幸福を考える方向に向かう方向にあるので、地域のコミュニティを残し、若い人にも参加を促していきたい。
- ・ 今の摂津市は大変住みやすい街と考えるので、この環境を残していきたい。
- ・ 10～20年後の摂津⇒地域住民、市民の声を聞いて下さる行政を。有害物質、環境を子孫に残さない。自然の多く残る摂津市にしてほしい。大型遊具も残す公園。

地域活動の場残してください。

- ・ 選択不自由なく。誰でも挑戦できる。幅広いコミュニティ。関わり、ふれあい。活気に満ち溢れた都市。
- ・ 学生が遊べる場所が欲しい。
- ・ 道をもっと広く、歩きやすくしてほしい。
- ・ 大きい病院が欲しい。車を持っていない人とかでも気軽に行けるようにしてほしい。
- ・ 市民の声が届きやすくしてほしい。
- ・ 若い人に向けたアプローチがあればいい。広い道、チェーン店などの設置といった環境の改善があれば、摂津市も周辺に負けない人気都市になるのでは？

② 安威川以南版 ハーベスト内容（原文まま）

- ・人とのつながりを大切にする社会
- ・安心、安全なまちで「自分のやりたいこと」が出来るまち。時間・お金・人が無くて何もできないのではなく…。やりたいことをできるようにやりたい人たちが繋がれる仕組み。
- ・市の縦割りでない制約が多くないサポート。
- ・自分の時間を持てるような便利さ。
- ・×トップダウン。認め合える
- ・鳥飼地区の不便さが改善する事を望んでいるが、自ら行動を起こし提案する必要がある。将来はその提案を実現できる力のある市になったら楽しそう。
- ・鉄道会社とコラボして、子供たちが思い出に残る鉄道のテーマパークとなる
- ・人と人、団体と団体、想いと想い、つながりのまち摂津
- ・皆が健康で自分の意見を言い、他人の意見を聞き、知見を広げられるまち。そのための色々な集まりや人との交流を通じて、摂津市にしかない幸せを実感できるものを残したい。
- ・市民と市職員のw c を継続的に実践しましょう
- ・ゆったりとカフェでくつろげる街。好きなことをして好きな時間を過ごせる街。
- ・より良い暮らし⇒安心安全の町。そのために残したいものは。地域のつながりも必要。
- ・10～20年後⇒企業と通りすがりの人が「すぐ」話せるコミュニティがあるまち。自治会、ボランティア⇒もっとフランクに。広報はウェブサイト⇒情報を一元化
- ・天下の台所=摂津
- ・どこよりも意見が飛び交い実現出来るまち
- ・どんな町？⇒世代や立場（学生/主婦/社会人）人種の壁を越えて色々な人が集まって自由に意見を言える機会を与える町。
- ・スポンサー/スターター/フォロワー
- ・価値とは/新しい/変化を認め合う/会話/共感/創造/助け合い
- ・学生が想いをぶつけられるまち
- ・10～20年先の摂津市は今とあまり変わらないような町だと思います。人口が多くなりません。逆に鳥飼が今より人口が少なくなるような。
- ・10～20年後の摂津市について、何も行動しなければ今のまま。良い暮らし幸せな暮らしするためには市民が集える場所、移動しやすい交通を良くすること。
- ・よりよい幸せな⇒今の生活にそれなりに満足しているという前提での発想である。今それなりに・・・という立場として考えると、10～20年さきに住む人たちが幸せな暮らしをできるように今の世代が動くこと、裏返すと自分たちはある程度、この状況を受け入れるしかない。
- ・暮らしは経済も大事だが、健康（体・体調の維持が大事、このための目標）コミ

ユニティを周りで作りながら。

- ・住みやすい街⇒交通の便が悪すぎる。外に出ようにも目標がない。駅前再開発に力を入れても駅から梅田や京都に出るので無駄。住んでいる人が便利なまち。住みたくなる街。日々の生活を健康に安心して過ごせる街
- ・摂津市に住みたいと思ってもらえる市にするのはちょっと難しいと思う。もっといろいろな取り組みなどをしていかなければ特に鳥飼地区は終わってしまう。
- ・子育て人口が増えている。市内の企業とコラボを増やして住みたい街と思ってもらおう。大きな公園で子供たちが遊べる場所の確保を。住みたい街ランキングで名前が上がるようになってほしい。
- ・摂津市について意外と考えていることが皆さんあるんだと感ずることが出来たので、10～20年後も摂津市民にとってより良い暮らし、幸せな暮らしを考えられる。思いを伝えられる場所が自分の暮らしている地域の中に当たり前にある町になって欲しいと思います。
- ・それぞれの幸せを実現できる環境が環境が提供できる財政がしっかりした摂津になって欲しい。また、それぞれの価値観を肯定する（受け止めれる。入れる？）市民がいてる町になってほしい。
- ・摂津市あるの？あつたら何がどうなっているのか⇒あつてほしいものは安心安全な町と愛国心！

③ 市域全体版 ハーベスト内容（原文まま）

- ・住んで働いて学んで楽しい街づくりを！一人一人が自分事として関わっていく町。市内の企業（工場、新幹線基地）ポリテクな普段知らないことを所を紹介して見学、こんな面白い所が摂津にあるんやと再認識。
- ・色々な人との交流を深めることのできる居場所づくりが必要。（参加して楽しい）市内各所に子供や大人、老人が気軽に集える場所があり、交流が盛んに行われるようになればいいな。
- ・北の方は「住む」に特化した町として、子供を含め皆が住みよい町に。北南の方は学校等の後地を利用してビジネスに特化した町として税金を得て、摂津市のインフラ整備をし、更に住みよい町になっていく。
- ・鳥飼に大型商業施設誘致。公園子供が楽しめる大きい公園。
- ・やっぱり利便性が高い町が幸せ。大きい商業施設や交通の足。子供も育てやすく、出を聞かれても人に伝わるランドマークのある町がいい。（新幹線基地）スタバとかゴンチャとか！
- ・人が多すぎず、都会と田舎の良い所を共存した住みやすい町。道を広くするといった環境整備。渋滞緩和のための踏切廃止。新幹線車庫に駅設置（例博多南駅）駅名つけるなら「新摂津」とか？
- ・摂津とは？と聞かれてすぐに答えが出てくる町であれば30年後も素晴らしい町と言えるのではないか。
- ・10年、20年先には外国人が増えていく。今の段階で交流などを考えていくべき（障害者、老人、子供など）です。教育場面にも問題が出てくると思います。早急に！！
- ・同世代の海外の人と交流ができる、みんなが笑っている姿。
- ・近隣の町に優れる町になる事→摂津市 1)コンベンションセンター2)病院 3)交通アクセス
- ・摂津が人に優しい町に。外国人が住みやすい街（教育の側面から）。障害を持っている人。高齢者が求めている支援。摂津市の良さを生かし、以北と以南を住み分けて”住みやすい住環境の町”にする。”商業、会社を誘致する町”に区分して特化。
- ・人が集まる魅力がある町
- ・個々の魅力を表現できる町
- ・子供から高齢者、障害者いろんな方がワイワイつながっている町。道がきれいになってたり、駅が増えて本数も増えると便利になると思った。
- ・いろんな人が集まれる場所、安全な道を作る。アクセスの改善
- ・学生や市民の方など幅広く利用できるような施設があれば豊かな生活が送れると思う。
- ・人が集まる場を作る。行きやすい交通の便もよく、買い物などできる商業施設を

作る。

- ・地域住民同士のコミュニケーションがある街。治安が良く、住みやすさを重視した街。
- ・買物や遊びは他の町でやるので、北は”住む”に特化した町にする。南は中小企業が”やりやすい”まちにして、物流など企業活動とその働く人のためにのまちにする。→それぞれの人にとって住みやすい町となる。
- ・摂津市内での格差がない。今より15%ぐらい若い人が増える。
- ・市民が居心地のいい暮らしができるような町づくりをしてほしい。
- ・無人バスが走っている便利で安心、新しい物と昔の古いものが良い状態で混ざっている市。人が気軽に集まれる場所が各地区にある。多世代が住みやすいとても素敵な市。
- ・教育に力を入れる町になってほしいです。そのためには、安威川以北と以南との小、中学生の学力格差のないまちになってほしいです。
- ・全ての世代の人が自分自身のやりたいことを言える街。カフェがあれば若者が集まる。大きい病院があれば体の不自由な方が困らない。
- ・摂津市で住むだけでなく、楽しく皆が集まる施設やイベントなどを。他市とは違う住み続ける町になってほしい。
- ・住みやすさに特化した町。アクセスやインフラが充実。子供達も皆が暮らしやすい町。
- ・「やっぱり摂津が落ち着くわ～」と思える、あたたかいまち。1つ1つは小さくても、人々が集える拠点がたくさんあるといい。
- ・交通の便が良くなり、会いたい人、行きたい場所へフットワーク軽く移動できる街。
- ・色々な人の意見が反映された町。
- ・人が多くにぎわいがあり、活気のあるまちになってほしい。
- ・教育を見直して将来を見据える。独立性。カフェを増やす。
- ・交通整備して安全に暮らせるように。緑を増やし、交流の場を増やす。
- ・ゆったりした時間を過ごせてホッとできる町になれば、他の町にない特徴になる。「人と人がつながる。顔の見える町」「誰かに話したくなる町」になればよい
- ・障害者に優しい街づくり。みんなが集まる街づくり。安心な街づくり。外人の方も良くできる街。
- ・大企業が10社近く存在し、厚生施設を市民解放し、交流等で裕福な市になっている。
- ・緑が多く人々がリラックスできる場所が摂津の中心にあり、世代、人種関係なく交流できる。それぞれの想いを否定することなく、受入れ、実現できる市になってほしい。その為にもそこ（目的地）へ行くための交通機関や道路整備に力を入れて、住んでいる方の暮らしやすさを考えてほしいし、私も考えたいなと思いました！

- ・各世代の人達が個人の希望を叶えられる街になっている事。例) 学生たちが集まれる場所がある。幼児の遊び場。小、中学生がボール遊びできる場所。行きたいところに公共交通機関で行ける事。” 摂津” といえは〇〇を作る！
- ・交通アクセスが良くなること。人口が多くなる環境。
- ・児童養護施設やコミュニティを取れる場所が近くでほしい。バスをオンデマンドできるようにしたい。鳥飼地区を1つに小中一環でお願いしたい。
- ・緑が多く、子供が遊べる公園が増える。皆が交流するスペースがありますように。外国人も市の活動に参加できる。
- ・それぞれの地域単位で、いろんな世代の方々が普段より集う場所が整備され、地域にて自主的に運営されている「姿」(現状を正確に把握し、将来に向けて有効に活用する議論の場が必要)。市内には財産がたくさんあるという認識。
- ・安威川以北と以南の住人が互いに思い合えるまちにするための人の形成
- ・高齢者、子育て世代、幅広く住民に寄り添える町。若者とかが学校以外でも興味が持てる町。摂津市と聞いて過ごしやすくとイメージができる町
- ・ほっとできて笑顔で過ごせる町。(カフェやファーストフード店があり人が集える。身近な所に買物へ行ける。バスや電車でお出かけしやすい)
- ・以南、以北での交通の便の解消にもっと簡単な思考で対応してほしい。例えば、セッピーの摂津市駅からの南摂津だけのピストン運行。
- ・子供達が楽しく遊べる場所を作り笑顔あふれる街にしてほしい。明和池のような公園を鳥飼にも整備し、無料Pを設け、行きやすくする。人が集まることで周囲にも企業が集まり、活気ある町になる。
- ・老若男女が相互理解を深め、助け合える環境が整っている町。
- ・摂津市に元から住んでいる人も、そうでない人(引っ越してきた人や外国人など)も摂津市を故郷として誇れるように、市の歴史なども語れるように楽しく、伝えあえる市。前提として、貧しくてご飯が食べられないという人たちを救う。
- ・一番は交通を便利に。後は小さい子から高齢者までの交流が盛んな町。
- ・住みやすい街。外に出やすい交通手段。日常生活に困らない。安心できる町。教育水準の向上。産業の発展。住んでいて良かったと思えるような町になってほしい。
- ・摂津に住む人が幅広い年齢層にするため、病院やスーパー人が集う商業施設が増えたら◎
- ・鳥飼地区(人の住みよい街。人の集まる街)目指してほしい！その為の交通路、施設(病院等)大型ショッピングモール等の誘致を進めてほしい。独居老人、生活弱者を守る為に地域貢献できる。ボランティア人口を増やしてほしい。
- ・ショッピングモールやカフェなど人が集まる場所をあえて作らない人と人がつながる摂津市を作る
- ・市として、これからは、町ではなく積極的に攻めていく活動をお願いしたい。年代、国籍に関係なく、皆が普通に生活できる町づくりを望みます。

- ・住みやすさ特化型町。子育てから高齢までみんなで創る町。
- ・こんな町になってほしい→商業施設（スタバみたいなカフェあり）があって、買物やくつろぎができる。みどりも・・・
- ・大きな広場があって、子どもから高齢者まで幅広い世代の集まれる所ができたらいいと思う。色々な世代の人達が仲良くできたらよい。